

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(122号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL / 0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp

振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一

代表 / 阿部 一 副代表 / 菊池せい子



摂理とすぐれた知性とはわたしのもの。わたしは分別であって、わたしには力がある。
箴言8/14

信仰: 神の摂理-お取りはからい

- 日毎の寒暖の差が10℃もある異常な天候に、待ちに待った桜前線もあつという間に走り去ってしまいました。体調管理も難しい春でしたが、皆さんにはお変わりございませんか？
- 多くの来客があった4月でしたが、その合間を縫って日和山と見事な桜で周辺全部が囲まれている登米市にある平筒沼を訪ねその美しさを愛でることが出来ました。
- 私たちの群「石巻祈りの家」も小さいながら、11年目の一歩を踏み出しました。「**キリストの恵みと知識における成長**」(IIペテロ3/18)の目標聖句の下で、キリストは自分にとって何か(恵み)、そしてキリストは私たちに何を望まれているか(正しい知識)をさらに誠実に求めて行きたいと願っています。
- この群の開所以来、水曜日の祈り会では、「ガラテヤ人への手紙」・「これがキリスト教です」・「十戒」・「キリスト教の精髓」・「ベター・トゥギャザー」・「教会・イエスの共同体」・「使徒信条」「だから、こう祈りなさい(主の祈り)」を学びつづけて来ました。その学びの中で、こんな価値のない者が神に愛された者とされるという計り知れない神の大きな愛と恵みの深さを教えられてきました。
- 現在、学んでいる「ハイデルベルク信仰問答」の問い27「**神の摂理とは何か**」という学びの中で、1/21にメンターの森谷正志師のメッセージ「もう一つの信仰: 神の摂理」で、「**摂理**」が「**神のお取りはからい**」(創世記50/20)であるという説明にそれが心の中にスッと落ち、アドナイ・イルエのことだと目を開かれた経験を思い起こして、互いに頷き合いました。
- 知識というものは、そのことばの意味や解説を覚えることではなく、その概念がストーンと心に落ち、「そういうことか」と納得でき、それを他人に生きた形で伝えることの出来るものだと思います。
- 初代のユダヤ人たちは、イエスの多くの奇蹟を見、権威ある教えを聞いていても、「十字架にかかって死んだ(呪われた)者」が自分たちが求め続けてきたメシア(救い主)であるはずがないという思いに縛られていました。
- しかし、「神のお取りはからい」による聖霊(助け主)の働きによって目からうるこが落ちたときに、神の愛とイエスの十字架の意味が腑に落ちたのです。
- そして、それは彼らの生き方と価値観を変えました。彼らの生き方の変化と語ることばの一致に、周りの人は何が彼らに起こったのかと求め始めました。
- そこにはいつも神の「お取りはからい」がありました。福音書の最後に書かれているように「エレサレムから世の果て」(日本)まで働き、そしてこんな小さな自己中心の私にも働きました。そして、同じ「神の摂理」で召された姉妹と共に、励まし合い、神の恵みと愛を伝えるべくこの「石巻」に召されているのだと考えています。
- このことに襟を正しながら、この地の人にこの「神のお取りはからい」を知っていただくために、一日一日を大切に、インマヌエルの主と共に歩みたいと思います。続けてこの小さい群を覚えて祈り支えて下さいますように。

先月の多くの恵みから

- ① 4/8-9に多くの支援団体からの献金とご配慮があり宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会準備委員会で奉仕された方々が休養と交わりが出来るようにと追分温泉で過ごす恵みのプレゼントをいただきました。32名の牧師や信徒が親しい交わりと休養の感謝な時を過ごしました。
- ② 2018年度も、継続して仙台バプテスト神学校長の森谷正志師に群のメンターをしていただけることになりました。

- ③ 4/16に私たちが支援を続けた仮設住宅で過ごし、復興住宅に移られた93歳の阿部 等さんが阿部の元同僚のN.A.さん(等さんの親類の方と判明)と一緒に教会を訪問して下さいました。また、教会への献金もいただきました。
- ④ 今回の大震災で継続して支援をして下さった福音伝道教団本庄教会牧師吉田 孝師ご夫妻が4/18の祈祷会に参加して下さいました。学びと祈りを共にし、昼食を一緒にして主にある交わりの時を持つことができました。先生は一般社団法人をたちあげ地域の方々への食品の支援をされており、被災地の漁師から海産物を定期的に購入するために来られています。
- ⑤ 4/19に石巻中央キリスト教会での4月の石巻ミニストリーネットワーク集会の中で、ICCCに奉仕に来られていた呂 榮生牧師に、石巻の各教会および3.11追悼記念会での台湾の花蓮大地震被害者への募金140,000円を託すことが出来ました。
- ⑥ 4/14に、地元紙「石巻日々新聞」のコラム「潮音」に第1回分が掲載されました。月1回で9月まで投稿機会が与えられました。良き証しが出来るようにお祈り下さい。
- ⑦ 4/1のイースター礼拝は、例年通り山城町教会で合同礼拝をさせていただき、聖餐式と祝会での楽しい交わりも一緒に持つことが出来ました。
- ⑧ 4月も、みなさんからの献金/献品/手紙/電話/訪問等で群を励まして頂き、働きが支えられて心から感謝します。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 求道中のガンと闘っている今野かつ子さん、手術後の千葉信一兄の奥様/藤井 斉兄の回復のために。② 地域より求道者が起こされるように。③ 渡米中のDean師ご夫妻の働きのために。

群の定期集会	
・礼拝(毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会(毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time(第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援(地域の子どもの要望に応じて)	

信仰を詠う

5月 凸凹八十路のふたり

間違いのくらしごめんと夫に詫言
「おつりがあるよ」と静かな返事
ありがとうと口付く言にひょうひょうと
「死ぬ時でいいよ」とネットに向かう
「あと何年、短かしのち、いらいらは
損をするよ」と すました顔が

阿部 八重子
昭和9年と11年生まれの性格正反對のふたり。よくまあ、連れ添って来たものと感慨しきり。引きこもり含む孫三人の面倒見ながらエッチラ、オッチラの生活です。

